

農民大衆に轉嫁せんとしつゝある。かくてブルジョアジーは今や、或ひは景氣回復のためと稱し或ひは農村救済に名を藉り、インフレーション政策を追求しつゝある。

然し乍ら、資本家階級とブルジョア政府の絶望的なインフレーション政策の結果によつて、我國の資本主義生産は未だ何等の回復をも見ることなく、只徒らに露骨な株價の騰貴と通貨價值の下落に基づく若干の物價騰貴を招來してゐるに過ぎない。云ふまでもなく、インフレーションによる物價騰貴は、それに伴つて大衆の購買力が増大しない以上、資本家階級の犠牲を勞働大衆に轉嫁するためには有効であつても結局に於てはそれによつて互に恐慌を深刻化せしめるに過ぎない。かゝる傾向は最近半年に於ける我國の經濟界の實際に於て明かに現はれてゐるのである。即ち最近に於ける物價變動の跡を日銀の物價指数に見れば、昨年九月以來徐々に物價は上昇の傾向をたどり、昨年九月の一五〇に比して本年二月の一六一を最高とし、更に本年八月には一五六に下つてゐる。然るに一方この物價の多少の騰貴の傾向にも拘らず、我國主要産業に於ける生産指数は

本邦重要商品生産指数(東洋經濟週)			
	六月六月	七月二月	七月六月
總平均	三一七・〇	三二二・五	三一六・四
綿糸	一六九・〇	一八四・七	一八八・四
生糸	二四四・六	一八五・三	七五・四
蠶	一九一・九	二二〇・六	二〇三・二
五炭	二二八・七	二二八・四	三三一・七

かくの如き、資本主義をれ自身の經濟的破綻の狀態は一方に於て最近一ケ年間の資本の攻勢を更に激烈ならしめたが、他方に於ては又我國の對する積極的侵略政策を追求せしめた。だが、滿洲國の成立とその存在によつて日本の經濟恐慌は徹底も回復されないばかりではなく、滿洲問題それ自體は逆に今や日本資本主義の大なる難關として横はつてゐるのである。

山來滿蒙に對しては、我國のブルジョア階級の内部に於ては久しい以前より積極的侵略政策を斷行すべしとの主張が叫ばれて來つたのであるが、極東を中心に益々激烈さを加へ來つた資本主義諸國の對立の間にあつて、一面には支那全土を蕩掃せる國民運動の成長のために、この主張は今日まで遂に公然たる武力的干渉となるべき機會がなかつた。然るに日支衝突の危機は次第に切迫し、昨年九月十八日の事件は遂に上海事件にまで進展し、

彼等は、滿洲に對する積極的政策によつて國內の不景氣が打開されると宣傳した。だが然し、日支衝突の現實の結果は、僅かに一部の軍需品工業を動員したるのみであつて、一面に於ては我國の對支貿易を行詰りに導いて一般生産を沈滞せしめ、極東問題を中心とする國際對立を激化せしめて戰爭の危機を切迫せしめつつあり、他方又滿洲國の存在それ自身は我國の軍事豫算の著るしい膨大と

の如く、本年二月に於て鐵及び綿糸の増大によつて僅かに上昇してゐるとは云へ、更に六月に至つては昨年六月の下に降つてゐるのである。この事實は、我國の主要産業に於ける生産制限率が依然として繼續され、紡績及び鐵鋼に於ては遂に増大してゐる事實と共に、我國の資本主義生産は、不自然なるインフレーション政策によつては斷じて回復してゐないことを物語つてゐる。

而して又、現在のインフレーション政策は、一面に於ては我國の國家財政の破綻の必然的な結果でもある。大森内閣當時に於て既に赤字は一億二千萬圓を超へてゐたが、その後滿州事變及び所謂時局匡救農村救済等の臨時費が加はり、本年八月臨時議會に於ては、純然たる赤字公債補填公債として一億六千萬圓が決定され、その他の道路公債等の名目をもつてゐる赤字補填額を加ふれば、僅に三億圓を突破せんとしてゐる。而かもこの無謀なる放漫政策は金輸出再禁止と滿州問題等に基づく、爲替相場暴落と對外貿易の不振、及び又四割にも足りない金準備といふ絶望的な情勢の下に於て行はれつゝある。要するにブルジョアとその協同者があつて宣傳しつゝあるインフレーションによる景氣回復は、單に一片のデマであるばかりではなく、よしそれによつて一時の表面的な景氣が現はれようとも、結局に於てそれは近き再發すべきより大なる破綻の一次的編織に過ぎないのである。

(ロ) 戰爭の危機とフアツシヨ擾亂

なつて現はれ國家財政を益々窮乏に導きつゝある。此等一切の行詰りと共に、今や日本の資本主義はその政治危機を深めつゝある。最近に於けるフアツシヨ擾亂こそはその最も明白なる現れである。日本に於けるフアツシヨ傾向は滿洲事變と前後して急速に繰頭し來つたものであるが、一つは資本家階級自體の從來の支配權力をより反動的な專制に置き代へんとするブルジョアフアツシヨの傾向をとり、一つは又小市民と農民層を背景として無産階級の闘争に真正面より對立し、無産階級の闘争陣容を擾亂せんとする國家社會主義乃至は國民社會主義の運動となつて現はれた。五月十五日の大森首相暗殺事件こそは、ブルジョア自體の支配權の移動の轉機となつたものであり、舉國一致の名の下にその後をうけて成立せる南滿内閣こそは、資本家、軍閥、地主、官僚の共同支配であり、更に反動的なフアツシヨ支配の一段階をなすものである。更に又國家社會主義の名の下に操縦せる無産階級運動に於けるフアツシヨ傾向は、軍閥と資本家の授けの下にその反動的の離手をもつて無産階級運動の妨害のために狂奔し、ブルジョアフアツシヨの一支柱としての役割を果しつゝある。だが彼等の反動的の曝露に伴ひ階級意識する組織労働者は彼等の擾亂と妨害とを大體に於て完全に粉砕することに成功した。然し乍ら、ブルジョア支配の危機の激化にもなひ、我が國に於けるフアツシヨ傾向は今後更にその反動的の離手を小市民と農民と未組織労働者の間にのぼさんとして居り、それとの決定的闘争は將來に於ける我等の重大なる闘